

(11) - 4 東俣野小学校「横浜の時間」全体計画

横浜教育ビジョン
横浜版学習指導要領
横浜の子どもの具現化に向けた重点的課題

本校の学校教育目標

- 自ら学び、自ら考え、問題解決する子を育てます。(知)
- 自分や人を大切にできる心の豊かな子を育てます。(徳)
- 健康に気をつけ、生命を大切にできる子を育てます。(体)
- 地域や人との豊かなかかわり合いを通して、共に生きる子を育てます。(公)
- 伝統を大切にしながら、社会の変化に対応できる子を育てます。(開)

子どもの願い
保護者の願い
地域の願い
教職員の願い

本校の「横浜の時間」の基本的な考え方

総合的な学習の時間を核として、まちの自然や社会・人とのかかわりの中で、体験的、問題解決的に学習活動を展開する。その活動を通して、郷土を愛し、積極的に社会にかかわり貢献しようとする子どもを育てていく。さらに、教科の枠をこえた横断的・総合的な学習活動を通して、各教科等で習得した知識・技能を相互に関連付けながら取り組んでいく。

本校の総合的な学習の時間の重点目標

- ・自分の思いや願いを大切に、自分のよさを生かし、自分なりの方法で伝えようとする中で、よりよい自己の生き方を考えようとする力を育てます。
自分づくり (公) (開) (徳)
- ・さまざまな人や自然などのかかわり合いを通して、自他のよさを見つけ、相手の気持ちを考えながら、互いに認め合い、共によりよく生きていこうとする力を育てます。
かかわり合い (徳) (公) (開) (体)
- ・自分で課題や問題を見出し、さまざまな方法を取り入れながら、自ら解決していこうとする力を育てます。**問題解決 (知) (公)**

横浜の教育課題 内容系列

| 学習課題 | 学習対象 | 学習事項 | |
|-------|----------------------------------|---|---|
| | | 3, 4年生 | 5, 6年生 |
| 伝統・文化 | 地域の伝統文化とその継承や発展に尽力する人々 | まちの人とのかかわり合いや交流を通して、自分のまちを大切にしようとする気持ちを持つ。まちを探検したり、まちの行事にふれたりすることを通して、自分の生活とのかかわりに気づき、まちの一員として自覚を持つことができるようにする。 | まちの人とのかかわり合いや交流を通して、自分のまちを大切に、自分にできることを進んでやろうとする。まちと自分のかかわりの中から、問題を見つけ、その改善に向けて進んで活動しようとする。 |
| 環境 | 身近な自然環境とそこで起きている環境問題 | 自分たちの生活とまちの環境の間には、さまざまな関連性があることに気づき、自分にできることを探し、身近な生活に働きかけようとする。 | まちの環境に関心をもち、環境保全や改善に向けて自分にできることから実践しようとする。 |
| 人権・福祉 | 地域に暮らす高齢者や障害者とその暮らしを支える人々や施設やしくみ | さまざまな立場の人とのふれあい、自分らしさを見つけるとともに、他者のよさも見つける。さまざまな人々の立場や願いがあることに気づき、自分にできることを考え、行動しようとする。 | さまざまな人と共に活動する中で、他者の考えを尊重しようとする。さまざまな立場の人と交流を深め、共に生きる社会を作るために、進んでかかわろうとする。 |

評価の観点と趣旨

| | 自分自身に関すること (自分づくり) | 他者や社会とのかかわり (かかわり合い) | 学習方法 (問題解決) |
|-----|--|--|--|
| 中学年 | 自分の持っている知識や技能を課題解決のために活用し、体験を通して進んで探究する活動を通して、探究的な学習活動の楽しさや自分自身の成長を実感する。 | 課題解決のために、相手の気持ちを考えながら、さまざまな人とかかわり合い、仲間と力を合わせて活動することを通して、自分と他者や地域とのつながりに気づき、地域の伝統や文化などに興味をもち、大切にできる。 | 自分の課題を見つけ、解決するために必要な情報を考えながら収集し、整理したり比較したり関連付けたりして、相手に伝わるようにわかりやすくまとめ、身につけた力を生活の中に生かす。 |
| 高学年 | 自分の持っている知識や技能を課題解決のために活用し、最後まであきらめずに探究する活動を通して、探究的な学習活動の楽しさを味わうとともに自己有用感をもつ。 | 課題解決のために、相手の気持ちを考えながら、さまざまな人と進んでかかわり合いを深め、自分や仲間とのかかわり合いを生かして活動することを通して、自分と他者や地域とのつながりを考えながら、地域の活動にかかわったり、先人の努力を知り、まちの伝統や文化を大切にできる。 | 自ら追求したい課題を見つけ、解決への見通しをもち、解決するために適切な手段を選択し、収集した情報を分析・推論して、相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、身につけた力を積極的に生活の中で生かす。 |

学習活動 () は時間数

| | 3年 (70) | 4年 (70) | 5年 (70) | 6年 (70) |
|-------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 基本単元Ⅰ | 地域の伝統文化 (例) おはやし体験 (42) | 福祉 (例) ケアプラザとの交流 (44) | 環境 例 境川の環境調査 (30) | 地域の伝統文化 例 大凧制作 (36) |
| 基本単元Ⅱ | 区音楽会に向けて 特別支援学校との交 流 (5) | 体験学習 (12) (当日6時間も含む) | 体験学習 (12) (当日6時間も含む) | 修学旅行事前活動 (4) |
| | 凧作り凧あげ大会 (当日4時間も含む) (14) | 凧作り凧あげ大会 (当日4時間も含む) (14) | 凧作り凧あげ大会 (当日4時間も含む) (14) | 凧作り凧あげ大会 (当日4時間も含む) (14) |
| | 特別支援学校との交 流(運動会) (5) | 朝日塾との交流 (10) | 特別支援学校との交流 (運動会) (6) | 特別支援学校との交 流(仲良し訪問交流) (6) たてわり活動 (10) |

| 個別支援 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|---|----|----|----|----|
| <p>◎学年ごとに、横浜の時間を含むすべての教科領域の一年間の学習(単元など)を4月から3月まで示す。</p> <p>◎総合的な学習の時間と道徳、特別活動、その他の教科の学習を結び、単元化を図り、横浜の時間として設定する。</p> <p>◎本校の地域や学校の特徴に応じた学習対象を明らかにした基本単元を年間指導計画に位置付け実施していく。</p> | | | | |

各教科の学習活動

- 国語科
- 社会科
- 算数科
- 理科
- 生活科
- 音楽科
- 図画工作科
- 家庭科
- 体育科

道徳

- 道徳的価値の自覚を深める
- 道徳的実践力を育成する
- 自己をみつめ道徳的価値を自覚する。
- 主体的に道徳的実践力を身に付けていく

特別活動

- 望ましい集団活動
- 個性の伸長
- よりよい人間関係
- 自己の生き方
- 自己を生かす能力